

産総研と地域企業

産業振興で連携

診断薬開発向け需要を開拓



グライコテクニカ

細胞の顔

係者の努力がある。

当社が販売していた

グライコテクニカ糖鎖解析装置は、今は
(横浜市青葉区)は小存在しないバイオ解析
さなバイオ関連企業な機器メーカーで産声を
がら細胞の顔と言上げた。しかし、顧客
の興味を喚起できず、
われる糖鎖の解析に取の興味を喚起できず、
り組み、世界をリードやがて当時バイオ産業
する技術を確立しよう事業に進出を試みてい
と日夜努力している。た企業に買収された。
現在、当社が存在してだが、その企業も後に
いる背景には、長い苦バイオ事業の撤退を余
難の道乗り越えた関儀なくされた。その

世界に通じる糖鎖解析技術

後、英国の企業グルー
プが持つ糖鎖解析のコ
ンセプト特許を使う権
利を獲得し、さらに、
ベンチャーキャピタル
の資本参加を得て、2
009年にベンチャー
企業として発足した。

事業体制を強化し、現
在に至っている。

た背景には、産業技術
総合研究所による糖鎖
解析の研究開発にかけ
るため努力と熱意があ
った。疾患の診断は、
産総研と共同で開

効果的診断薬

ここまで息をつなげ

糖鎖解析技術を用い
能は、いま50%近くが
海外にあることわが
るを得るとは当社が
持つ技術力がない。だ
が、世界的に通用す
る技術だということを
証明していると言え
る。だが、残念なが
ら米国サンフランシ
スコ糖鎖関連市場の
規模が小さいため、
営業関連商品として
事業経営に大きな
効果を期待するこ
とは難しく、結果と
して海外へと目を
向け、高島末明(木
曜日に掲載)



このシステムは米国
食品医薬品局にも設
置され具体的に試
され、バイオ後続
医薬品の製造過程
での品質管理に役
立つとする論文も
発表されている。

一言メッセージ

産総研生命工学領域
研究戦略部イノベー
ションコーディネータ
新聞陽一

開発の初期から一貫して
関与し続けてくれた「糖鎖
解析システムのDNA」の
ような方がいて、いくつ
も会社を経て糖鎖解析技
術をつないでくれた。今
こそ糖鎖関連市場を共に
拓きたい。

海外にシフト

当社は、技術的には
さらなる高感度システ
ムの開発を進めてい
ると必要になっている。
だが、残念ながら米
国サンフランシスコ
糖鎖関連市場の規模
が小さいため、営業
関連商品として事業
経営に大きな効果を
期待することは難
しく、結果として
海外へと目を向け
、高島末明(木曜
日に掲載)